

ぐんじとしのりは
県議会の改革に
取り組んでいきます。

1 県議会の 現状について

県議会議員は現在91名(定員98名)。このうち、60人を自民党議員が占めて県民の切実な声が届かないのも現状です。

例えば、2月定例県議会では「障害者自立支援法の抜本的な改正を求める意見書」、「生活保護制度の切り下げに反対する意見書」等が審議されましたが、残念ながら自民党の反対により国への意見書が出せずに閉会しました。民主主義は多数決が全てではなく、声なき声を拾い上げ少数意見も大事にすべきであると考えます。しかし、このままでは数の論理により、活発な議論は妨げられ、健全な議会運営ができないと危惧するのは私だけでしょうか。

2 議会改革を どうすすめる?

2月23日(金曜日)に初めて県議会議員として県議会議場にて壇上より一般質問をさせていただきました。しかし、県議会の内容は、質疑を含め全て事前打ち合わせを求められるような状況。これでは、疑問点を鋭く追及することはできません。私は、県議会を民意が反映される議論の府に再生させていきます。また、議員定数をさらに削減させ一層の是正を目指し(60名程度を目標とします。)、**「活動の見える県議会議員」**として引き続き県政の情報を提供すると共に**「政務調査費」**のありかたを県民の皆様と議論していきます。

やりま
す！
ぐん
じと
し
の
り
は

教育と福祉を
重点にいままで
取り組んできました。

市議会議員として7年半、そのうち3年半文教福祉常任委員会に席をおき、県議会議員として半年健康福祉常任委員会に席をおき、今は病院誘致に力を注いでいます。印西市の役割、千葉県の役割それぞれに精通し、人が人として生活するのにもっとも大切な安全・安心のまちづくりを皆様とすすめます。

教育

いじめをなくすために行動し、
教員の採用・人事制度、
研修内容に目を配ります。

福祉

情報公開をすすめ、
国と県に責任をもたせませす。

県政を
ぐんと
身近に!

Profile

- 1966年 東京都足立区生まれ。
日本大学 法学部卒
- 1989年 コンピュータソフト輸入販売
会社に入社、その後、食品
輸入販売会社に転職
- 1999年 印西市議会議員に初当選
文教福祉常任委員会副委員
長などを歴任
- 2005年 印西地区環境整備事業組合
議会(グリーンセンター)副議長
- 2006年 千葉県議会議員に初当選
健康福祉常任委員会に所属
県の財政健全化、総合病院の誘致・交通問題
(鉄道・道路)に力を尽くす

地域では、防犯組合牧ノ原支部の設立に参加し、支部長として8年目を迎える。また現在、西の原2丁目団地自治会長。家族は妻・息子2人

